

超高圧圧力容器の構造基準

JBAS-C6:2012

(社) 日本ボイラ協会

<http://www.jbanet.or.jp/publication/book/technology/>

目 次

1. 適用範囲	1
2. 材料	1
2.1 使用材料	1
2.2 厚さの定義	1
2.3 材料の機械試験	1
2.3.1 機械試験の種類と試験片の数	1
2.3.2 試験材及び試験片の採取方法	2
2.3.3 試験材の熱処理	7
2.3.4 機械試験	7
2.3.5 再試験	10
2.4 設計材料データ	11
2.4.1 引張強さ	11
2.4.2 降伏点又は0.2%耐力	11
2.4.3 線膨張係数及び縦弾性係数	11
2.4.4 熱伝導率及び熱拡散係数	11
2.4.5 破壊じん性値 K_{IC}	11
2.4.6 設計疲労曲線	11
3. 設計	12
3.1 設計一般	12
3.2 設計で考慮する荷重	12
3.3 腐れ代	12
3.4 基本的な設計要求	12
3.5 弾塑性解析	15
3.6 内圧を受ける胴及び鏡板	15
3.6.1 円筒胴の最大許容圧力	15
3.6.2 球形胴の最大許容圧力	15
3.6.3 全半球形鏡板の最大許容圧力	15
3.7 内圧を受ける円筒胴の主応力	15
3.8 円筒胴の設計と強度評価	16
3.9 胴及び鏡板の穴	17
3.9.1 穴の形状及び寸法	18
3.9.2 穴の補強	18

